

しなののうた

マンションの窓の明かりが  
一つずつ灯る夕べの団欒思ふ



杉田小百合

しなののうた

蔦の葉が絡んだ樹から音がしてザクロがひとつ道に転がる

杉田小百合



しなののうた

颪風に無口になれる老夫婦手を繋ぎ合ひ仮の住処に



杉田小百合

しなののうた

街路樹が裸になれるプラタナス幾多の瘤が天を衝くがに

杉田小百合



しなののうた

焼き芋に集ふ子ら賑賑と頬張る顔の賑よかなれる



杉田小百合